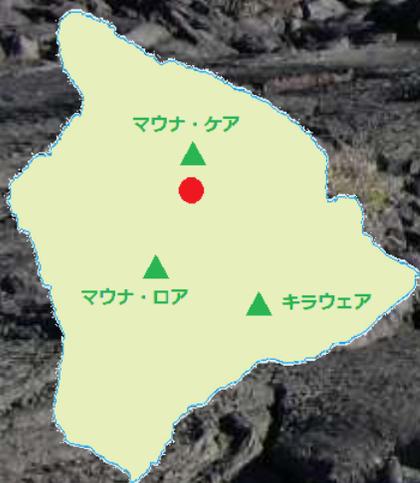


特許調査セミナー 特許分類活用コース

導入編



ハワイ島 マウナ・ケアとマウナ・ロアの間のサドルロード付近から見たマウナ・ロア (2005年8月)

講師自己紹介

- 氏名: 石井 哲 (いしい さとし)
- 専門分野: 電子回路(主にアナログ回路)
- 略歴:
 - 特許調査業務: C社16+年(ライン管理業務等含む)
 - 特許調査に関わった主な技術分野
撮像装置、医療機器、表示装置、
産業機器、印刷機器
 - 社外活動:
ATIS特許調査分科会(2008~2011年度)
特許検索競技大会実行委員(2009~2017年度、2019年度~)
- 趣味等:
 - ランニング、バッティング、ボウリング
 - ハワイ旅行、クラシック音楽鑑賞、美術鑑賞

• 私の熱い思い

特許サーチャの地位
向上を図りたい



信頼性の高い調査で
効果を見せつけてほしい

本セミナーの狙い

好ましくない検索式を多く見てきました

特許分類の選択が不適切
分類の生きた使い方ができていない

避けてほしい！

本セミナーの特徴

特許分類を知る

上司や先輩が教えてくれないことも

特許分類を正しく選択・特定する

分類付与ルールを知る
分類の選択・特定方法を知る
分類改正情報を確認する

特許分類を活用する

分類の生きた使い方をする

事例

具体例によって理解を深める

特許分類を駆使した
精度の高い調査

依頼元からの信頼度向上

P 特に注意すべきポイントに
このマークを付してあります

本セミナー(本編)の概要

- セミナーの前に
 1. 特許情報の検索
 2. 特許分類の概要
 3. 日本の特許分類
 4. FI, Fタームの改正情報
 5. 欧米の特許分類
 6. CPCの改正情報
 7. 特許分類の選択・特定
 8. 国際特許分類IPC
 9. 検索への特許分類の活用
 10. 特許分類の活用事例
 11. 特許検索の事例
- 質疑応答

本編は、休憩含め
約3.5時間を
見込んでいます

本導入編では最後に課題を出し、本編で解説します

1. 特許情報の検索

1. 何のために検索するか
2. どのようにして探すか
3. 特許分類とキーワードによる検索 
4. 適切な検索のために
5. 特許情報検索の手順

導入編では  マークの一部だけ紹介します

3. 特許分類とキーワードによる検索

• 特許分類とキーワードによる検索のイメージ

	特許分類特定適切	特許分類特定不適切
ピンポイントのキーワード	ヒット漏れ・ノイズ少ない	ヒットしない
キーワード適度	ヒット・ヒット漏れ可能性 ノイズ中程度	ヒットしない
広義、類義語過多	ヒット・ノイズ多数	ヒットしない

↑
問題外！

2. 特許分類の概要

1. 覚えておきたい特許分類
2. 特許情報検索時の使い分け
3. 特許分類の階層構造
4. 日本特許に付与される特許分類 

4. 日本特許に付与される特許分類

• 付与される特許分類

- IPC (International Patent Classification)

- セクション、サブセクション、クラス、サブクラス、グループ、サブグループ

- FI (File Index): **日本の技術事情**によりIPCを細展開

- 展開記号 … 101,103等3桁の数字

- 分冊識別記号 … A,B,C等アルファベット1文字

- ファセット分類記号

- 横断的付与: 広域ファセットと適用範囲限定のファセット

- Fターム (File Forming Term)

- 種々の技術的観点(目的、用途、構造、
ど)からFIを再区分、あるいは細区分

- 大量の特許文献から特許審査のための**先行技術調査**を効率的に行うために、機械検索用として開発

日本特許の検索には
IPCよりFIを使うのが有効

P

使わない手はない!

適切なタームコードがあれば
優先して使うことをおすすめ

P

3. 日本の特許分類

1. FI, IPCの構造
2. ファセット分類記号
3. Fタームの構造
4. FI, IPCの付与原則
5. 特許分類の付与手順



• IPC, FI, Fタームの関係



IN...のIP・eラーニング(現IP ePlat)『IPC, FI, Fタームの概要』テキストを参考に具体例を用いて作成

4. FI, Fチームの改正情報

1. FIの改正情報
2. Fチームの改正情報



5. 欧米の特許分類

1. CPCとその付与原則 
2. CPCの構造
3. CPC Y section
4. CPC Combination Sets
5. USPC

参考

1. CPCとその付与原則

- CPC (Cooperative Patent Classification: 共通特許分類)
 - 2013年1月付与開始(EP,US)
- <https://www.cooperativepatentclassification.org/>

検索時: **CPC最新版**による検索が基本!



過去分にも遡及

- **メインランク (Main Trumpet)**
 - 発明情報“inventive step”
 - 付与
 - IP
 -
 - 付与されるが、展開記号や分冊識別記号に相当するものはない

本編にて解説します

1. CPCとその付与原則

- CPC (Cooperative Patent Classification: 共通特許分類)

- 2000シリーズ (indexing codes)

- 付加情報で付与
 - 付与されるとは限らない
 - 3種類

- “breakdown”

- “C”

- “N”

- “Y”

- IPC

- II

2000シリーズ

れるおそれ

P

本編にて解説します

るもの

Y2101/00, H04N101/00→H04N2101/00

1. CPCとその付与原則

• CPCの付与傾向

Today CPC codes are assigned differently from the 1980s

Finding the

『

最近のCPCの付与傾向は、
2013年のCPC使用開始当時とは
少し異なっています。

その傾向を本編にて解説します。

→ 最近

• “Too

• 比較

注が高いので要注意

付与 

6. CPCの改正情報

1. CPC改正情報の確認 
2. CPC改正情報の実例
3. Espacenetでの改正情報表示

参考: USPCはCPC発足以降改正なし
過去分にも最終USPC遡及済み

1. CPC改正情報の確認

- CPC Org. ホームページ

<https://www.cooperativepatentclassification.org/>



Cooperative
Patent
Classification
European Patent Office
United States Patent and Trademark Office

CPC Revisions

Search

Home Latest news About Objectives CPC Scheme and Definitions CPC Revisions CPC Concordance Publications

F16M11/2028

F16M11/2035

F16M

F16

以降は本編にて詳しく解説します

7. 特許分類の選択・特定

1. 特許分類の選択・特定方法 (JP) 
2. 特許分類の選択・特定方法 (EP,US)
3. 特許分類の選択・特定のヒント

1. 特許分類の選択・特定方法 (JP)

1. 予備検索結果からFIの候補を選択

- 関連性の高い文献に付与されたFI
- 付与FIのランキング上位

【重要！】
必ずFIから入る

FIから入るべき理由
タームフ

本編にて解説します

2. 候補の

利用:ハンドブックも確認

3. 特定したFIに対応するテーマコードを確認

P

P

P

1. 特許分類の選択・特定方法 (JP)

4. タームコードの特定

- 確実

- 発

本編にて、タームコード選択時の考え方を 選択する
その理由を含めて解説します

P

- 特許分類特定時の鉄則

上位階層から下位階層へ探しに行くこと
下位にぴったりの表現があっても上位が該当しない場合あり

P

(例) 2K101(エレクロ、電気泳動、可変反射吸収素子)

BB29, BB56, BB78, BC16, BD09, BD45, BD70, BD85 … 「磁氣的性質」
上位階層を間違えると意図しない検索になる

8. 国際特許分類IPC

1. IPCの基本
2. IPCの選択・特定方法
3. IPCの改正情報



参考

• IPC改正情報の調べ方

IPC HOME | DOWNLOAD

2024.01 Version

Old-to-New

New-to-Old

PDF

Home > International Patent Classification > IPC Publication

Scheme **RCL** Compilation Catchwords

Revision Concordance List

新旧どちらから見るか

本編にて解説します

Schem	Version 2024.01
B60K	
B60K 35/00	B60K 35/00 , B60K 35/10 - 35/90
B60K 37/00	B60K 37/00 , B60K 37/10 - 37/20
B60K 37/02	B60K 35/50 , B60K 35/60
B60K 37/04	B60K 35/50 , B60K 37/00 , B60K 37/10
B60K 37/06	B60K 35/10

memo

9. 検索への特許分類の活用

1. 検索式の構成
2. 特許分類の使い方 
3. NG事項 
4. 特許分類付与ブレ対策
5. その他の要注意事項

2. 特許分類の使い方

- Fタームの使い方

- FMテーマ: **タームコードのAND**
次ページに検索式

付与される
コードのみ使用

注

本編にて解説します

P

- FSテ

→ 付

(同一観 可能性がある場合に限り、その観点内のANDはありうる)

P

10. 特許分類の活用事例

1. NG事例
2. FI, Fターム選択・特定の事例
3. 導入編課題
4. 導入編課題解答
5. 導入編課題解説

この章については、
本編までに考えてきていただきたい
課題を、導入編の最後に提示します

11. 特許検索の事例

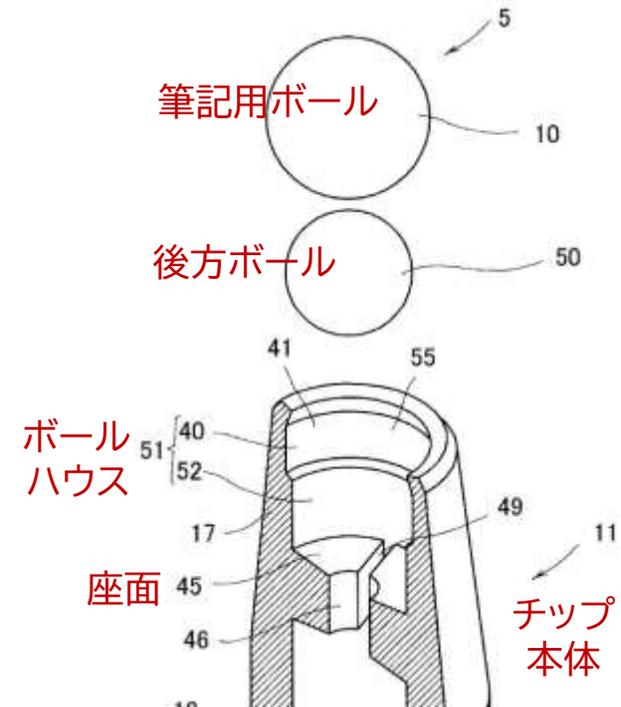
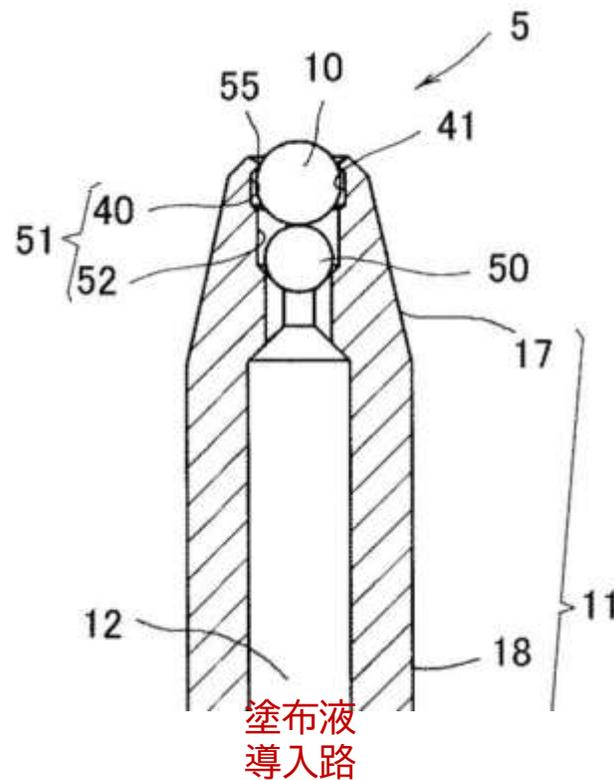
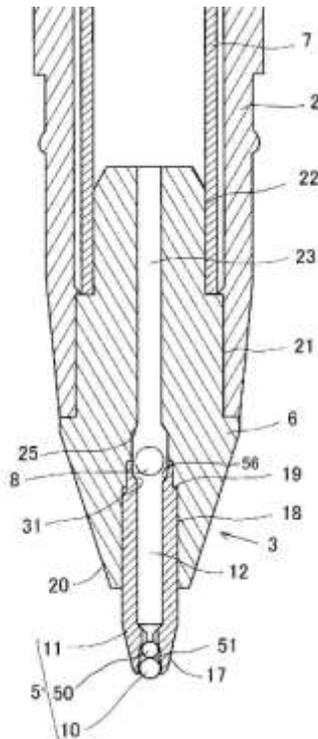
1. 調査対象特許(無効資料調査) 
2. 特許分類の特定
3. 重要情報の確認
4. 検索式の作成 
5. 特許性(無効性)の検討

1. 調査対象特許(無効資料調査)

特許第5718628号

- 塗布具用チップ及び塗布具
- 出願日(JP):2010年12月17日

【注意！】技術内容を理解するより、『分類の特定方法』や『分類の検索式への反映方法』に着目してください



4. 検索式の作成

• 検索キーの整理(EP,US用)

検索用 構成要件	a	b	c	d	e	f
	直接接触する筆記用ボールと 後方ボール	樹脂製	表面粗度	後方ボール	粗度	塗布具用 チップ
CPC	<p>..B43K1/082 式12</p> <p>..B43K1/084</p> <p>..B43K1/0</p>					<p>B43K1/08</p> <p>B43K7/00</p>
USPC	401/212					401/209
ワード	touch contact					
		ball		specular		

要件の整理、分類特定、
 検索キーの整理、
 検索式作成の考え方、
 検索式の実例 (JP用、EP,US用) を
 本編にて詳しく解説します

(注)追加すべきワードは他にもあるかもしれません

4. 検索式の作成

• 検索式例(US,EP)

公知日/発行日

2010年12月17日以前

No.	検索キー	件数
¥11	B43K1/088/CP	32
¥12	B43K1/082/CP	34
	¥12-¥11	34
¥13	(B43K1/084+\$P	128
	¥13-¥	117
¥14	(B43K *ball,8M	200
	式14-式1	113
<p>実際にはさらに検索を追加してヒット漏れを防止する</p>		

本編にて解説します

(注) 対象は USおよびEP
J-PlatPatによる英文検索

本編のための課題(宿題)

課題1-1

課題1-2

課題2

本編受講の際に検討結果をご用意ください
本編にて解説します

課題1-1 (先行技術調査)

• 事例1: 乳幼児用バスタブ

- 合成樹脂製のバスタブ(10)
- 乳幼児の体の曲線に合わせて成型され、着脱可能な造型敷板(20)

• 検索式の例

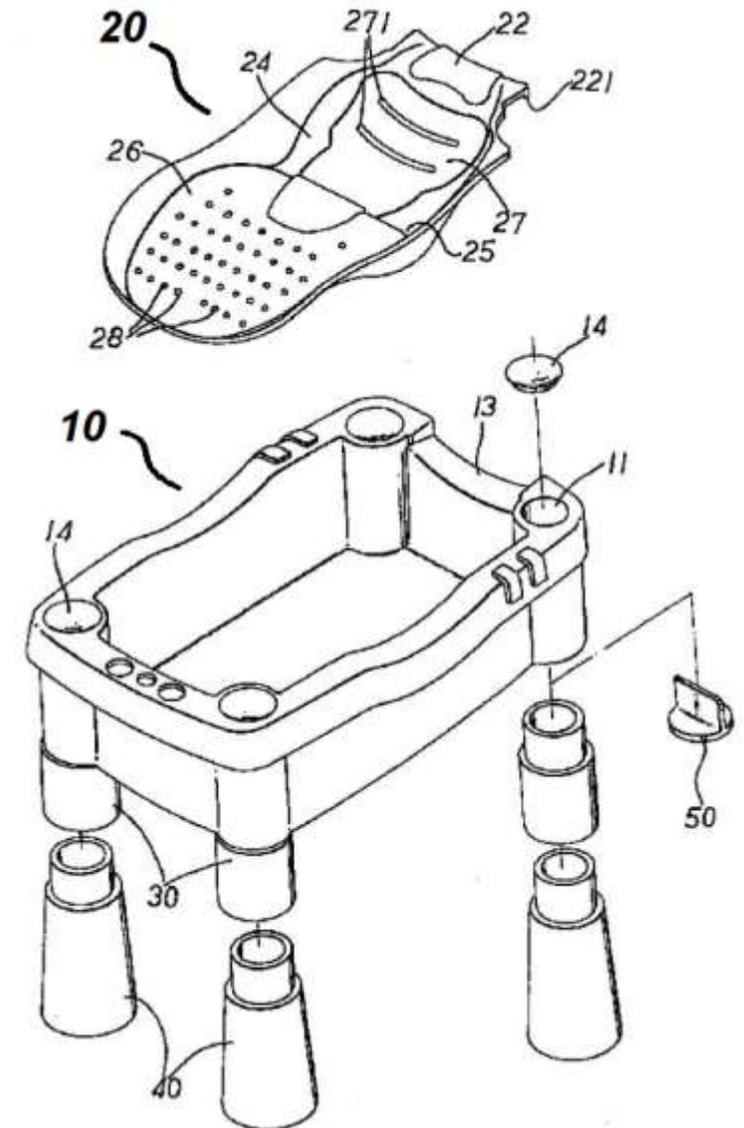
問題ないか考えてみてください

テキスト(全文)

- A47K3/024/FI * (樹脂+プラ)/TX
- A47K3/024/FI * (浴槽+バスタブ)/TX
- 2D132AB02/FT * 2D132BA00/FT

Fターム

検索式は、J-PlatPatの論理式形式に準ずる



課題1-2 (先行技術調査)

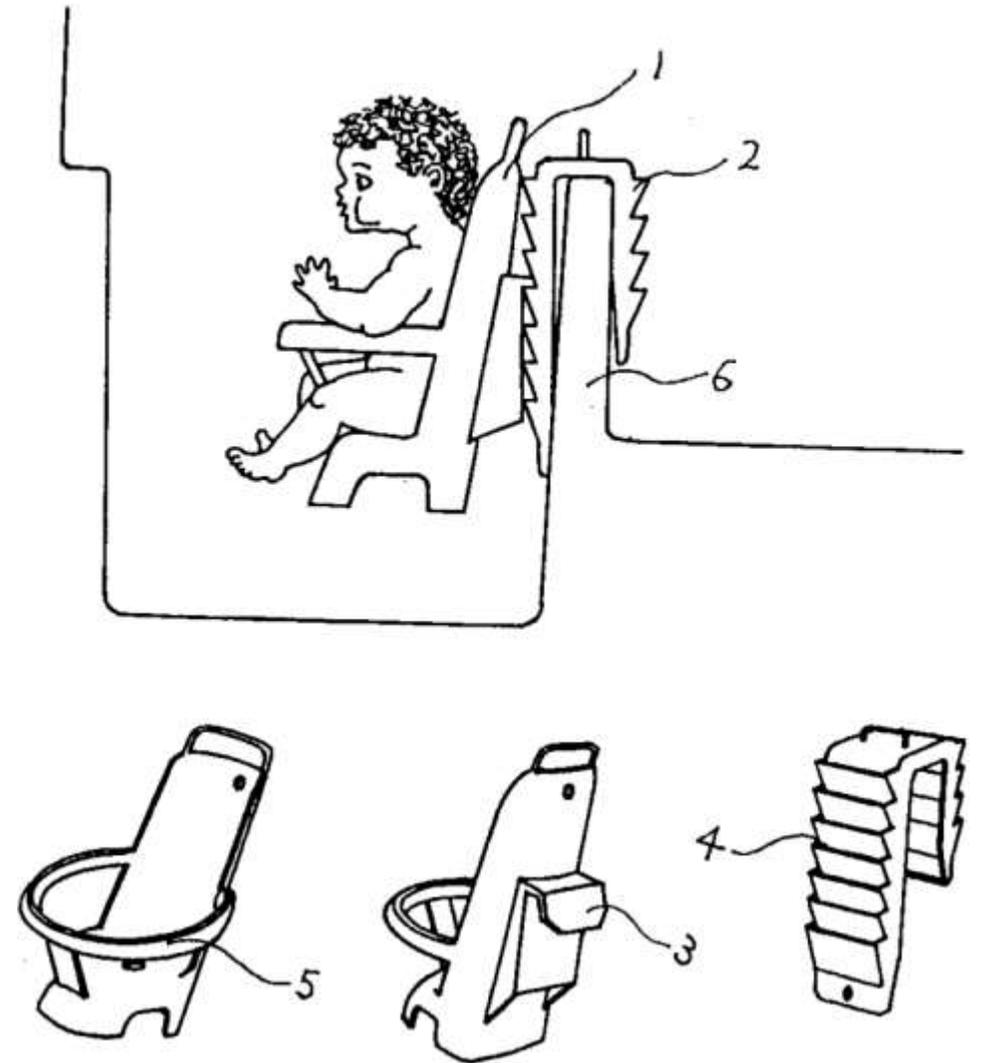
• 事例2: 乳幼児用入浴補助具

- 右図の通り高さが可変

• 検索式の例

問題ないか考えてみてください

- 2D132BA02/FT
* (高さ+深さ+上下)/TX
- (A47K3/024+A47K3/034)/FI
* (乳幼児+乳児+幼児+嬰兒)/TX
* (高さ+深さ+上下)/TX



検索式は、J-PlatPatの論理式形式に準ずる

課題2（先行技術調査）

- 下記発明の先行技術調査を実施するにあたり、
検索に使用すべきFI, Fターム, CPCをそれぞれ特定してください。

【発明の名称】点眼薬容器

【請求項1】

薬液容器本体と

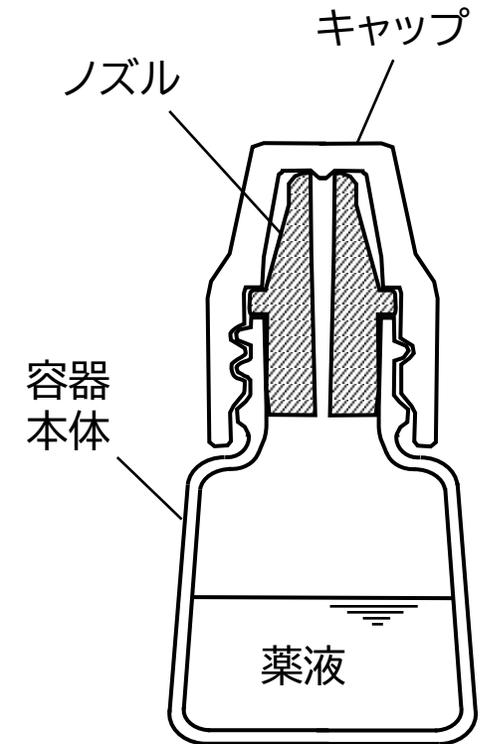
前記薬液容器本体の口部に装着され薬液を滴下するためのノズルと、
前記口部に着脱可能に設けられ前記ノズルを開閉するためのキャップ
とを具備した点眼薬容器において、

前記ノズルを着色材料で形成し、

前記キャップを透明な樹脂で形成したことを特徴とする点眼薬容器

【目的】キャップを装着した状態においても薬液の種類を判別可能にする。

【解決手段】ノズルの色を薬液の種類に応じて変えるとともに、キャップを透明に
することにより、キャップ装着状態でも薬液の種類が判別可能となる。



本編受講のおすすめとご案内

次のように感じている方は、ぜひ本編受講をご検討ください

- 特許分類をだれよりもうまく使いこなしたい！
- 特許分類について十分な理解ができていないかも …
- 特許分類を正しく的確に選択できていないかも …
- 特許分類の改正情報を意識できていないかも …
- 特許分類の生きた使い方ができていないかも …

セミナー情報は、下記URLの募集案内にてご確認ください

<https://ip.rws.com/ja-jp/seminar-top>





オアフ島 マカプウ・ライトハウス・トレイルから見たココ・クレータ (2019年1月)

memo

Thank You

本編もよろしくお願ひいたします

無断転載および複製を禁じます。
著作権は株式会社RWSグループに帰属します。